

2008年度新賃金配分交渉の妥結にあたって

本部は4月24日16時30分、2008年度新賃金配分交渉を集約し妥結しました。すでに、集約していた2008年度ベア「35才ポイントの基準内賃金900円引き上げ」について、「一律900円をすべて基本給に配分すること」を柱に要求し団体交渉を積み重ねました。

団交の中で会社は、ベアの配分の基本的な考え方として「新人事・賃金制度の主旨に沿って配分を考える」との考えを明らかにしました。具体的には、①初任給額の引き上げ、②昇格時昇給額の一部引き上げ、③等級に応じた基本給加算額とするというものでした。特に基本給加算額はJ1等級600円で、等級が上位に行くほど徐々に額が大きくなり、L3等級では1,400円となります。このような配分の仕方では、等級によって差が生じることとなり下位等級と上位等級では、まさに倍以上の差がつくこととなります。

この間、JR東海労は一昨年スタートした新人事・賃金制度は、制度として確立したものの、賃金格差が拡大する賃金制度であり改善の余地が多く、疑問を呈してきました。現に、上位等級にならなければベアであっても差がつけられることがはっきりしました。会社の言う「努力した者によりの確に報いる」という新人事・賃金制度の趣旨は、「昇格時昇給額を大きくする」ことで反映しているはずですが、にもかかわらず、ベアの配分にまで格差をつける必要はなく、「賃金制度の主旨」と「基本給のベア」は区別して考えるべきです。したがって、本部はベア900円を一律基本給に配分することを主張しねばり強く交渉しました。しかし会社は「合理的な配分だ」との主張を譲らず協議は平行線をたどりました。

ベアは、文字通り基本給水準の底上げを図るものです。新人事・賃金制度により「努力したもの」（上位等級、最短昇格など）により差がつけられますが、ベアは等級に関係なく平等に配分されるべきです。あらためて、このことを主張し続けましたが、これ以上の進展は困難と判断し妥結することとしました。

この間の組合員の皆さんの支援・激励に感謝申し上げます。ありがとうございました。

2008年4月26日
JR東海労働組合中央本部